

# NEWS LETTER

vol.4

2023年10月発行

発行  
意思決定サポートセンター  
DMSOJ 一般社団法人 日本意思決定支援推進機構

## CONTENTS

- 1 理事長挨拶  
第5回 意思決定支援研究大会
- 2 遺言能力スクリーニング検査  
団体正会員の取組より  
・京都信用金庫  
・住友生命保険相互会社  
・三井住友信託銀行株式会社
- 3 銀行ジェロントロジスト認定試験
- 4 INFORMATION  
・認知機能チェック  
・研修のご案内  
・金融WG報告書  
・団体賛助会員、正会員のご紹介  
・賛助会員・寄付金のお祝い

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

私たちは持続可能な開発目標 (SDGs) を支援しています

理事長挨拶

成本 迅

Narumoto Jin

本年6月には「認知症基本法」が成立し、第十七条には、「国及び地方公共団体は、認知症の人の意思決定の適切な支援及び権利利益の保護を図るため、認知症の人の意思決定の適切な支援に関する指針の策定、認知症の人に対する分かりやすい形での情報提供の促進、消費生活における被害を防止するための啓発その他の必要な施策を講ずるものとする。」という記載が入りました。私自身も消費者庁新未来創造戦略本部の客員主任研究官として企業の方角への認知症ガイドブックを作成して6月に公開しました。

このような社会の流れの中で、法律、福祉、医療の専門家と民間企業からなる当機構が今後果たすべき役割はますます大きくなることが予想されます。今年度から、研究開発に携わる立場の樋山リサーチフェローを新たに事務局に迎えることができました。理事長として事務局と一体となつて社団全体の活動を活性化させていきたいと思っておりますので、引き続き当機構の運営にご協力をお願い申し上げます。

## 第5回 意思決定支援研究大会

事前申込制

参加無料

「認知症の人にやさしい意思決定支援～医療・福祉・金融・法律の現場から～」と題して、本年も以下の形式で意思決定支援研究大会を開催いたします。

ベストセラーとなった『認知症世界の歩き方』の著者、寛裕介氏を講師とした基調講演の他「医療と福祉の現場」「金融と法律の現場」の担い手をシンポジストとした意思決定支援のシンポジウムをご用意しております。会場・オンライン共に参加無料ですので皆さま是非ご参加・ご視聴願います。

日時

2023年11月11日(土)  
14:30～17:30

場所

キャンパスプラザ京都 (現地会場)  
オンライン(Zoom) ハイブリッド開催

基調講演 ● 寛 裕介 (NPO法人 issue+design 代表)

シンポジウム (医療と福祉) ● 司会 成本 迅 (理事長) シンポジスト 3名

- ・宮本雄気 (医師：医療法人双樹会よしき往診クリニック)
- ・中山貴弘 (医師：足立病院生殖医療センター センター長)
- ・上林里佳 (社会福祉士：理事)

シンポジウム (金融・法曹) ● 司会 椎名基晴 (弁護士：副理事長) シンポジスト 3名

- ・朝田雄介 (京都府立医科大学精神医学教室客員講師)
- ・久保貴史 (京都府立医科大学精神医学教室研修員／三井住友信託銀行)
- ・樋山雅美 (公認心理師：当機構リサーチフェロー)

\*開催について以下の団体様に  
協賛のご協力をいただきました。

詳細・申込方法は  
ホームページで  
ご確認ください。



(協賛団体名 (50音順))

医療法人財団北林厚生会 五条山病院・医療法人三幸会 北山病院・医療法人精華園 海辺の杜ホスピタル・医療法人双樹会 よしき往診クリニック・京都信用金庫・社会医療法人三上会 東香里病院・住友生命保険相互会社・三井住友海上プライマリー生命保険株式会社・三井住友信託銀行株式会社

(この他団体名の掲載を希望されない協賛団体様もございます)



# 「遺言能力スクリーニング検査」

好評実施中

トラブルのない遺言作成のために、遺言を確実に残したい方の遺言能力を測定する本検査は昨年6月にスタートし評価が上々です。

検査を受けた方からは、「検査を受けるまでは緊張していたけれど、いつの間にか終わっていた」というお声をいただき、ご家族の方からも、目に見えなかったご本人の認知機能と遺言能力の様子がわかり安心したとの評価をいただいております。遺言能力が科学的に測定され、その結果に基づいて遺言書が作成できることへの安心感があるようです。

ご好評をいただいていることから、京都信用金庫本店で行う定期検査の他に、部屋を用意していただくなどの条件がそろっている場合には、出張検査を実施することにしました。

高齢の方やおひとりさまを中心に、遺言書を確実に作りたい、トラブルは起きてほしくない、というニーズが高まり続けています。当機構の「遺言能力スクリーニング検査」の本格実施によって、ご本人もご家族もますます安心して遺言が作られるようになれば、と思います。



チラシのダウンロード、よくある質問などはホームページに掲載。



## 団体正会員の取組より

### ■ 京都信用金庫

2022年4月より高齢者のQOL維持のため、一般社団法人日本意思決定支援推進機構と共同でお客様向けに「認知機能チェック」のサービスを始めました。

成本迅先生の監修のもと、同社団の公認心理師の先生に「改訂長谷川式簡易知能評価スケール (HDS-R)」を用いて検査を行っていただきます。検査結果は、当日その場でお渡しし、チェック結果をお伝えしながら生活上のアドバイスや日常生活で簡単にできる認知症予防についてもお伝えいただいております。

チェックを受けられたお客様からは、病院より敷居が高くない、京信だと抵抗なく来られた、定期的にチェックを受けたい、公認心理師の先生の丁寧なカウンセリングがとても良かった、等のお声をいただいております。また、このチェックをきっかけに、お金にまつわる将来の備えについてご相談される機会も生まれています。

お客様の小さな変化に寄り添い、少しでも早い段階での対応につなげ、安心した生活を送っていただく一助となることを目指し、今後も当金庫はお客様のしあわせづくりをサポートして参ります。

### ■ 住友生命保険相互会社

人生100年時代という超高齢社会が到来し、長い人生をいかに健康的に心豊かに楽しむかという人々の意識が高まる中、住友生命は「一人ひとりのよりよく生きる＝ウェルビーイング」に貢献し、「なくてはならない生命保険会社」を目指しています。

また当社は、人生100年時代の大きな課題である「認知症」は誰もがなりうることを理解し、認知症の人とそのご家族を支えるとともに、認知症になっても個人の意思が尊重され、安心して暮らし続けられる社会（認知症バリアフリー社会）を実現するため、次の取組みを実践しています。

1. 認知症バリアフリー宣言
2. 認知症サポーターの養成
3. 認知症啓発冊子による認知症に関する情報提供
4. 認知機能低下に備えて「終活セミナー」を実施
5. 認知症を保障する「認知症PLUS」  
「スミセイの認知症保険」の提供
6. 認知機能をチェックする「あたまの健康チェック®  
コールセンター・サービス」の提供

# 「銀行ジェロントロジスト認定試験」

(金融業務3級 シニア対応銀行実務コース)

さらに受験者拡大中

主に銀行のシニア層向けビジネス関係者等を対象に実務対応力を検証する、当機構の知見を反映した本試験。

「銀行ジェロントロジスト」の認定書を取得でき、推奨資格として採用される企業も年々増え、開始2年で13,000名を超え予想以上の受験者数となっております。

本試験は高齢者取引時に必要となる「認知症の知識」「法律や制度」と「意思能力の確認」の学習と業務における対応力向上を目指し「金融業務3級 シニア対応銀行実務コース」として一般社団法人金融財政事情研究会と共催で実施中です。

名称に「銀行」と付いておりますが、金融機関全般に应用できる内容で認知症の基本的な知識や高齢者の心理も学べる内容となっており、ジェロントロジーの基礎の理解をベースに、認知判断能力や身体機能が低下してきている高齢顧客を公的支援窓口等と連携して支援し、財産管理を行い、こうした高齢顧客と銀行取引を行う際の実務対応力を検証します。

今後ますます増えていく「高齢顧客」との対応に関するノウハウが学べる試験です。社内資格として採用される企業もさらに増え、今後受験者増加が予想されます。ご興味のある方は早めの受験をお勧めします。



## ■ 三井住友信託銀行株式会社

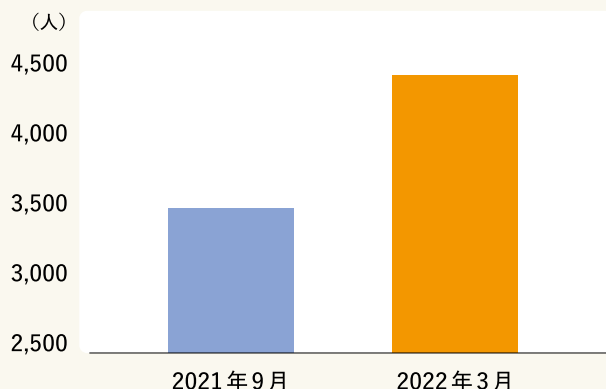
「人生100年時代のベストパートナー」を掲げる当社は、高齢になってからも安心してお取引いただき、生涯寄り添えるパートナーとなるべく、社員による老年学(ジェロントロジー)の知識の習得を推奨するとともに、その知識をお客さま対応に活かしています。

医療・介護分野も含めた老年学の知識およびこれに適した金融業務を試験領域とした「銀行ジェロントロジスト

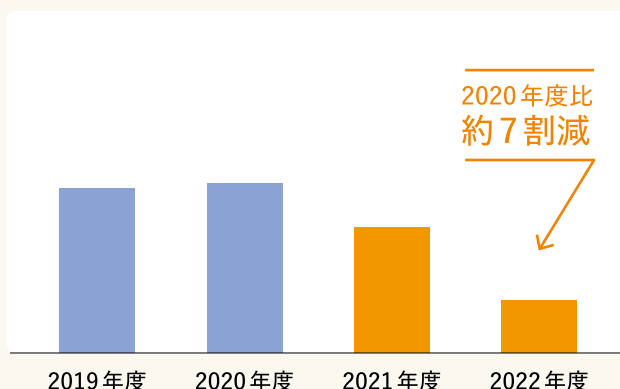
認定試験」について、当社は作問のサポートをするとともに、個人事業の全社員に対して取得を推進しており、約8割が「銀行ジェロントロジスト」を取得しています。

上記取組開始後、高齢のお客さまからの苦情申出が減少しており、高齢期のお客さまの状況の理解・配慮に基づいたベストパートナーとしてのコミュニケーション推進の基礎となり、お客さまに応じた提案力の向上につながっていることがうかがえます。

銀行ジェロントロジスト保有人数



75歳以上のお客さまからいただいたお客さま対応に係わる苦情数



## 「認知機能チェック」業務請負

正会員の京都信用金庫様より業務依頼を受けて「認知機能チェック」を開始しております。同金庫のお客様に対して改訂長谷川式簡易知能評価スケール（HDS-R）をお受けいただき、その結果をもとに認知症予防や物忘れに関する相談にもお応えしております。

「人の名前が出にくくなってきた…」等不安を抱えたご本人やご家族で病院に行くには抵抗がある方などが受検され、検査経験豊富な公認心理師が精度の高い検査を安価で行い、健康な生活のアドバイスまでいただけるということで、受けられた方からの感想は非常に好評です。



## 「研修のご案内」

社内研修資料の監修経験を活かして、団体様向けの研修を準備中です。研修内容、開催形式（対面・オンライン・録画）等、ご希望に応じてアレンジし、医学・心理学・福祉・法律の専門家を講師として派遣いたします。事務局までお気軽にお問い合わせください。

## 「金融WG報告書」

京都府立医科大学と当機構が事務局を務める金融機関高齢顧客対応ワーキング・グループでは、毎年活動報告書を発行し関係官庁をはじめ賛助会員の皆さまにお届けしており本年3冊目になりました。

前年は日本証券業協会様より会員向けに紹介されております。

当社HPよりダウンロードいただけます。



**Vol.1** 「高齢顧客の判断能力評価、及び意思決定支援における金融業界全体のルール策定についての提言」

**Vol.2** 「本人らしい生活と自律的な資産管理を維持するために金融機関が行うべき高齢者支援」

**Vol.3** 「認知症への備えと意思の保存」



報告書の  
ダウンロード

\*本年度の金融WG活動についても報告書作成予定。

### 「団体賛助会員・正会員のご紹介」

(2023年8月20日現在。敬称略・五十音順)

**賛助会員** ● 足立病院・イオン・アリアンツ生命・内海慈仁会 有馬病院 (23団体)  
 院・海辺の杜ホスピタル・香川証券・川越病院・北林厚生会 五条山病院・三幸会 北山病院・石鎚会 京都田辺中央病院・SOMPOホールディングス・第一生命保険・第一フロンティア生命保険・大日本印刷・マネーフワード・みずほ銀行・三井住友海上プライマリー生命保険・三井住友銀行・三菱UFJ銀行・東香里病院・ベネッセスタイルケア・やすらぎ福祉会 やすらぎの杜・ゆうちょ銀行・よしき往診クリニック

**正会員** ● 京都信用金庫・住友生命保険・三井住友信託銀行

※個人の賛助会員の方も毎年増えております。

### 「賛助会員・寄付金のお願い」

当機構の活動にご賛同いただける「賛助会員」を募集しております。「寄付金」についてもお待ちしております。

**賛助会員：年会費1口（団体5万円／個人1万円）**

#### ●主な会員向けサービス

「特別価格での監修受託」

「当機構の研修や当機構理事の講演動画の配信」

「研究大会、研修等への優先参加や参加費の割引」

「ニュースレターのお届け」